

# 未来創造人

生産本部  
工事部 人材教育推進室  
かみのうち よしのぶ  
上ノ内 誉直

地元の福島が東日本大震災に見舞われた経験から「震災復興に携わりたい」と土木業界を志ざし、鹿島道路に就職した上ノ内さん。入社後は東北支店仙台営業所に配属され、道路や外構工事の施工管理に携わりました。もともと話し好きではあるものの、現場では世代が異なる職人さんとの接し方に戸惑いました。それでも「経験豊富な先輩に教えてもらう気持ちで接しよう」と意識を変えたことで、現場管理を円滑に行えるようになったそうです。



新人を教えることで自らも学び

なりたい自分へ近づいていく

こうした経験をふまえ上ノ内さんは日々の業務においてコミュニケーションを大切にしています。今年4月に配属された人材教育推進室でも、「現場のことが分からない新人たちの不安を軽減してあげたい」という思いから、積極的に声をかけたり自身の経験に基づいた指導に努めています。

そんな上ノ内さんが創造したいと思いつく未来。それは「この人なら任せられる」と誰からも認められる基盤を築いて支店長になること。そのために今は後進を教育しながら自分自身も“学び直し”に取り組み、なりたい自分に近づくためのスキルアップにつなげたいと意気込んでいます。



きっと、未来に続く道

# KIT PLUS

特集

## 鹿島道路の新しい風



# A NEW BREEZE at KAJIMA ROAD

## 新しい体制で、未来へつなぐ 鹿島道路の新しい風

一人ひとりの力を最大限に生かし、  
より強く、より柔軟な組織へ。

2026年度の始まりを迎え、  
鹿島道路は体制、働く環境、技術など、  
さまざまな面で広がり続けています。



### 1 NEW STRUCTURE 新しい体制

事業環境の変化に対応し、  
人材を育てるため新しい部門を設置しました。  
より強い推進力で、未来を切り開きます。

### 2 DIVERSITY 多様性と働きがい

働きやすさを支える制度の充実を進め、  
キャリア形成と多様な人材が活躍できる  
組織づくりを目指します。

### 3 TECHNOLOGY 広がる技術

国内では建設技術展示館への常設展示、  
海外ではPIARC（フランス）へ出展など  
鹿島道路の技術はこれからも広がり続けます。



## AI 開発課 新設

— AIで仕事を変える —

AIは、いまや特別な技術ではなく“仕事を変える当たり前のツール”になりました。社員の皆さんからも、業務効率化のためのシステム開発のご要望が多く寄せられていたことを背景に、新部署を設置しました。

### 課題

Before

AI活用のニーズが  
急増  
でも 専門組織がない

対応が遅れる可能性

### 新部署

After

AI開発を専門で担当  
情報・開発を  
一元化

スピード&質UP

### 新部署の役割



集める  
AI情報を一元管理



つくる  
業務効率化システム開発



広げる  
社内の要望に対応

## 人材教育推進室 発足

— 若手を育てる会社へ —

若手教育や離職率などを鑑みて、現在会社全体で人材を育てる仕組みが求められています。1級土木施工管理技士検定の合格率アップなども目指し、教育の中核となる新部署がスタートしました。



### 人材教育推進室



教育を一元化  
全社共通の  
教育体制を構築



カリキュラム統一  
体系的な  
育成プログラムへ



継続的にフォロー  
成長を長期的に支援

### 新部署の役割



育てる  
新入社員～5年目まで  
体系教育  
1級土木資格試験対策を強化



支える  
各支店の教育をフォロー



増やす  
採用・インターンの強化

## AI活用を“個人任せ”から“会社の力”へ



AIは、皆さんの仕事を支える“相棒”です。AIの導入により、現場担当者の業務は「監視・調整」から「判断・改善」へと高度化することを目指します。長時間労働の是正とワーク・ライフ・バランスの確保が実現し、魅力ある職場環境へ変わることを目標に、現場の声を反映しながら、より働きやすい環境を築いていきます。



本店  
DX推進部長  
兼 AI開発課課長  
たざわ しんじ  
田澤 慎司

## 若手の成長を支え、現場で活躍できる会社へ



人材教育推進室は、全社で人を育てる仕組みの中核として、若手一人ひとりの着実な成長を支えています。教育の質と機会を平準化し、現場で力を発揮できる人材を育成することで、安全・品質・生産性の向上につなげていきます。これからも社員の向上心に寄り添いながら、持続的に成長できる環境づくりを推進してまいります。



工事部  
人材教育推進室長  
いたくら まさしろ  
板倉 雅城



## 誰もが働きやすい会社へ —女性活躍の取り組み—

当社は、女性従業員が自身の能力を最大限に発揮できる環境を整備し、すべての職種・役職で活躍できる姿を目指しています。

### かじまるこの会

## 他部署との交流で “新しい気づき”や“刺激”が得られる



鹿島道路では2025年7月、女性技術者交流会「かじまるこの会」を6年ぶりに開催しました。全国から36名が参加し、講演や意見交換を通じて、働き方やキャリアについて交流。「悩みを直接話せて良かった」「今後も続けてほしい」といった声も寄せられ、部署を超えたつながりを深める貴重な機会となりました。



### この取り組みの役割



**働きやすさの向上**  
働き方改革の啓発を通じて、従業員全体の意識改革を進めます



**キャリア形成の支援**  
女性管理職比率向上を目指しています



**定着率の向上**  
悩みを共有し、モチベーションを高める場を提供します



### えるぼし認定

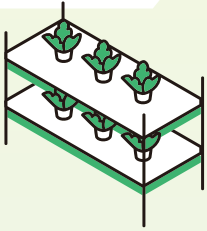
女性が働きやすい職場環境の整備が評価され、厚生労働省より認定を取得しています。



### くるみん認定

育児と仕事の両立支援に取り組み、安心して働き続けられる環境づくりを進めています。

## 一人ひとりが力を発揮できる組織 —わーくはぴねす農園の活用—



当社では在職者の高齢化に伴い、新たな障がい者雇用の必要性が高まっていました。一方で、採用方法や業務の切り出し、現場での配慮などに課題があり、雇用の拡大が難しい状況にありました。こうした中、専門スタッフによる支援体制が整った「わーくはぴねす農園」を活用し、安定的な雇用モデルの構築に着手しました。農園では作業負荷が調整されており、障がいのある方が安心して働ける環境が整っています。現在は8名体制で運用し、定期面談を通じて状況を把握しながら、雇用率の向上と働きやすい職場づくりを推進しています。さらに、収穫物の活用を通じて福利厚生や社会貢献にもつなげています。



農園長2名と障がい者スタッフの皆さん



水耕栽培で無農薬の野菜を作っています

### そのほかの取り組み

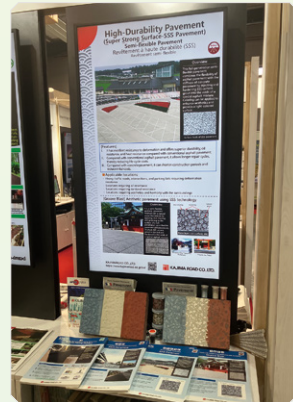


農園以外にも、スポーツアスリートやサテライトオフィス型の事務スタッフ、コーヒー焙煎事業スタッフの採用を行っております。障がい者雇用は、法令遵守にとどまらず、多様な人材が力を発揮できる職場づくりそのものです。異なる視点や価値観は、組織の成長や新たな発想を生み、社員一人ひとりの働きやすさの向上にもつながります。また、誰かを支える取り組みではなく、互いに認め合い、新たな価値を生み出す未来への挑戦です。当社は、多様な個性が輝く職場づくりを通じて、誰一人取り残さない社会の実現を目指してまいります。

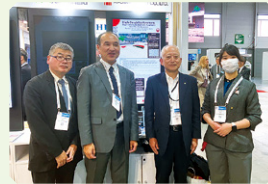
## 世界へ広がる鹿島道路の技術力 —PIARC出展で海外へ発信—



世界道路協会の本拠地・フランスで開かれたPIARCに、鹿島道路が出展しました。当社の技術を海外へ伝える機会として、脱炭素化につながるツインバブルミックスや、レジリエンス分野のスリーエス舗装・AKD舗装を紹介しました。また、若手社員が考えたフランス国旗をデザインしたグループラストサンプル展示や、関係部署で準備したノベルティも来場者から好評を得ました。鹿島道路の名前と技術力を世界に広め、今後の海外展開に弾みをつける大きな一歩となりました。



グループラストサンプル展示



ブース前にて集合写真



サヴォワエキスポ

#### 第17回冬期サービスとレジリエンスに関する世界大会 (シャンペリー冬期大会)

開催会期 2026年3月10日(火)～13日(金)  
大会会場 サヴォワエキスポ(フランス シャンペリー)

## 「鹿島道路らしさ」を世界へ



今回の出展では、限られた展示枠の中で「鹿島道路らしさ」をどう伝えるか、関係部署の皆さんと知恵を出し合いました。若手社員の工夫やこだわりも形となり、海外へ技術を発信する貴重な機会に。これからも当社の技術力を世界へ広げていきましょう。



本店  
技術開発本部  
技術部 次長  
はやしんや  
林 信也



展示ブース

## 建設技術展示館に展示

鹿島道路は、5月28日にリニューアルオープンした建設技術展示館(国土交通省関東地方整備局 関東技術事務所)の第17期展示に参加しています。これは最新の建設技術や国土交通省の取り組み、DX体験などを「見て!触れて!知る(学べる)!!」体験型施設です。当社は防災・減災、DX、脱炭素化などをテーマに、ハイパークールパッチ、カジマ クールミックスアクア、PMR99+を紹介。体験型展示を通じて、当社の最新技術を広く発信しています。



補修材サンプル



### 副社長からの メッセージ

代表取締役副社長  
兼 執行役員副社長  
(製品事業部管掌)  
すがはら けんじ  
菅原 賢司

社会や技術が大きく変化する中、鹿島道路はサーキュラーエコノミーの推進やエアフォームド技術など低炭素技術の開発を通じて、持続可能な社会の実現に貢献していきます。

これからの時代、AIや自動化が進む一方で、「判断力」「創造性」「コミュニケーション」といった人にしかできない力の重要性はますます高まります。皆さんには、広い視野を持ち、一歩先を見据えて失敗を恐れず挑戦し続けてほしいと願っています。

お客様からパートナーとして信頼され、社会に必要とされる企業であり続けるとともに、社員一人ひとりが誇りを持って働ける会社を目指し、これからも共に歩んでいきましょう。

## 01 100%リサイクル防草材「はえん草」

鹿島道路では、廃コンクリートの有効活用を目的に、新たな用途開発を進めてきました。そうした取り組みの中で誕生したのが100%リサイクルの安定処理路盤材をベースにした、「はえん草」です。

本製品は、原材料のすべてをリサイクル由来で構成しています。防草コンクリートと比較してCO<sub>2</sub>排出量を95%以上削減できるほか、施工コストも約30%低減。高い耐久性も備えており、カーボンニュートラルやサーキュラーエコノミーといった社会課題への対応にも貢献します。

開発にあたっては、防草効果の検証期間が限られていたことから慎重な意見もありましたが、防草対策に課題を抱える自治体のニーズが後押しとなり、商品化が実現しました。今後は、人手不足や高齢化が進む中での恒久的な防草対策として活用を広げ、環境負荷の低減と維持管理の効率化を目指します。

### ■ 防草効果の施工例



施工前



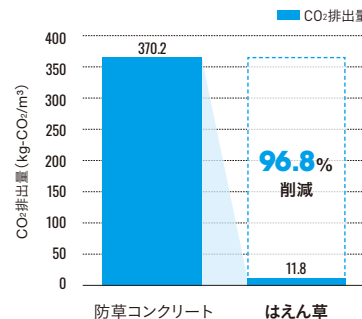
施工後5カ月

### → What's 「はえん草」

はえん草は、余剰になっている“コンクリートがら”の新たな活用方法として「再生路盤材」に鉄を生産する際の副産物である「高炉スラグ微粉末」と「固化促進材」で構成されたものです。



### ■ コンクリートCO<sub>2</sub>排出量(はえん草)



## 02 循環経済・脱炭素の両立「RAクリート」

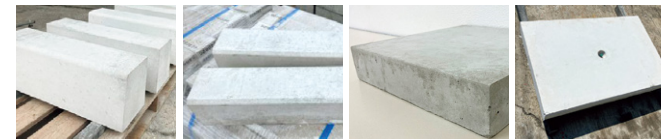
近年、天然骨材の確保が難しくなる一方で、都市部の再開発や老朽化構造物の解体に伴い、コンクリート廃材は増加しています。こうした背景から、鹿島道路では名城大学との共同研究により「RAクリート」を開発しました。

RAクリートは再生骨材を100%使用した低炭素コンクリートで、循環型社会の実現に貢献する製品です。さらに、高炉スラグ微粉末を活用しており、従来製品と比較してCO<sub>2</sub>排出量を約50%削減。

開発にあたっては、大阪・関西万博における100%リサイクルコンクリート納入の実績を踏まえつつも、規定強度の確保という課題に直面しました。そのため、配合の改良を重ねるとともに、骨材サイズの最適化や輸送コストといった実用化に向けた課題にも取り組んでいます。

今後はコンクリート二次製品への展開をさらに進めるとともに、持続可能な社会インフラの構築に貢献していきます。

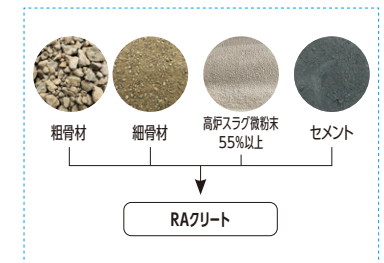
### ■ 骨材にコンクリート再生骨材を100%使用したリサイクルコンクリート製品



歩道境界ブロック 地先境界ブロック コンクリート平板 シキタ(ベースブロック)  
その他、上記以外の製品にも適用進行中

### → What's 「RAクリート」

RAクリートは、骨材にコンクリート再生骨材を100%使用+高炉スラグ微粉末を活用しています。さらに「環境配慮型=高コスト」という従来のイメージを覆し、コスト面でも従来製品と同程度を実現しています。



### ■ コンクリートCO<sub>2</sub>排出量(RAクリート)

